

防災ゲーム「クロスロード」～あなたなら、どうする!?!～

クロスロードとは、「岐路」・「分かれ道」を意味する言葉です。

人生には多くの岐路があります。そして、災害時にも多くのジレンマをとまなう決断を迫られ、Yes・Noの判断を瞬時に行わなければなりません。

防災ゲーム「クロスロード」は、緊急の判断を要する設問を5人程度のグループに分かれて行います。そして、その判断理由を参加者同士が議論し、様々な方の考え方の違いを知り、意識を高めようとするものです。

◇設問1 あなたの住居は築40年、家族4人暮らしです。先日、専門家の耐震診断を受けたら、震度6強以上の地震が発生すると倒壊の危険があるとの結果。耐震補強の費用は約200万円。ローンを借りないと費用を支払えません…。
耐震補強をしてもらおう? Yes(補強をする) or No(補強をしない)

◇設問2 あなたは夫婦2人暮らしです。平凡な一日が終わり、ぐっすり眠っていると、恐れていた南海トラフ地震が発生。2分ほど激震に襲われ住居は全壊だが、自分はどうにかはい出すことができました。津波が来るので避難をしようとしたとき、がれきの下から手が出てきて「助けて!!」と愛する妻(夫)の声が…。引っ張り出そうにも出てきません。想定ではこの場所に津波が来るまで後10分。すぐに避難をしないと自分も死んでしまう…。

妻(夫)を救出する? Yes(死ぬかもしれない) or No(自分だけ避難)

◇設問3 あなたは職場にいます。地震発生直後、交通は完全に麻痺。家族と連絡を取れず安否が気になるが、上司として部下の安全確保をまず優先すべき責任もあります…。

会社に残る? Yes(会社に残る) or No(家族の無事を確認するため家に帰る)

◇設問4 10分前の地震で大津波警報発令。ラジオでは、約20分で第1波来襲の危険と報じています。地域住民と声を掛け合い、約10分で地域の高台への避難を完了しました。しかし、家族のうち8歳の息子が見当たらない…。

息子を探しに戻る?

Yes(死ぬかもしれない) or No(高台で待機)

◇設問5 地震で家が半壊状態、家族そろって避難所へ。ただ、日頃の備えが幸いして、非常持出袋には3日分の水と食料があります。しかし、避難所には水も食料も持たない家族がたくさんいます…。

他の家族の前で非常持出袋を開ける?

Yes(開ける) or No(開けない)

◇設問6 「安全」との診断がされた避難所暮らしは、余震が続く中では安心。しかし、近頃の寒さで風邪が大流行中。幼い我が子に風邪がうつるのではと心配…。

避難所を出て半壊状態の自宅に戻る?

Yes(自宅に戻る) or No(避難所に残る)

皆さんも災害が発生したつもりで下記の設問について考え、災害を疑似体験してみてください。

皆さんの判断はYes・Noどちらになるのでしょうか?



クロスロードでは、参加者自身が様々な条件を考え判断をします。条件により、判断がYesにもなるし、Noにもなります。

様々な条件を考えておくことは、いざというときに判断をするうえで重要で、危機管理には必要なことです。

また、Yes・Noの判断を出しますが、正解はありません。様々な方の考え方を聞くことにより、考え方の違いや、そこから発見する気づきを参加者同士で共有することが重要なのです。

